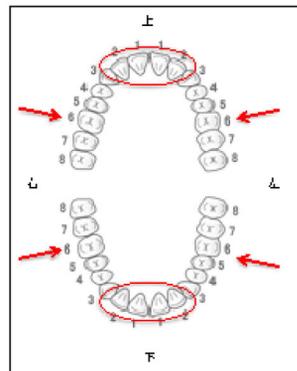


多数歯に及ぶ形成不全

Molar-Incisor Hypomineralization (MIH)

1. Molar-Incisor Hypomineralizationとは

Molar-Incisor Hypomineralization(MIH)とは、第一大臼歯(6歳臼歯)と切歯(前歯4本)に現れる原因不明のエナメル質形成不全です。形成不全の程度はそれぞれですが、重度な状況では第一大臼歯が崩壊することがあります。原因は現在のところ不明ですが、これらの歯は出産前後や乳幼児期の頃に顎の骨の中で成長する為、その頃の全身的な環境が歯の形成に何らかの影響を与えていると推察できる。



2. 通常のエナメル質形成不全とMIHが異なるところ

MIHは第一大臼歯が萌出した時から認められますが、萌出当初は白濁や黄褐色の変色としてエナメル質表面に認められ、見た目以上にあまり大きな変化がなくその重大性に注意が向かないことが多いようですが、萌出完了後反対の歯と接触するなどして広範囲の歯の崩壊を招くことが少なくありません。**いわば、進行性のエナメル質形成不全症と言えます。**



3. MIHと診断されたら注意すること

MIHについて明らかな原因が突き止められていない以上、現時点での治療は原因療法ではなく対症療法が中心にならざるを得ません。MIHと診断された場合には現時点では以下のことが大切になると考えられます。

- ①こまめに短い期間で歯科医院を訪れ確認してもらう
- ②普段から自分でも歯の形態などの変化に注意する
- ③大きな変化に気付いた時はすぐに歯科医院を受診する



詳しくは当院へご相談ください



ふたぎ歯科医院

